

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製造者 : 株式会社アイ・ディー・エム
輸入総販売元 : 株式会社 エービーシー商会
住所 : 東京都千代田区永田町2丁目12番14号
担当部門 : インサルパック営業部
電話番号 : 03-3507-7240 FAX 番号 03-3581-4946

整理番号 : 00ICB002

作成 2011年3月 1日

製品名 : インサルクラックボンド(ICB100)

2. 物質の特定

単一製品・混合物 : 混合物
化学名 :

成分	含有量%	CAS No.	官報公示整理番号 (化審法)
ジメチルエーテル	20~30	115-10-6	

国連分類 : クラス2. 1 (ガス類)
国連番号 : 1950 (引火性)

3. 危険有害性の要約

重要危険有害性 高圧ガス入っている。加熱・衝撃等により破裂する危険性がある。
燃えやすいガスが入っている。ガスが滞留すると爆発の恐れがある。
液化ガスが、皮膚に触れると延焼や凍傷を起す。
燃えやすい液体である。上記が滞留すると爆発の恐れがある。
有機溶剤中毒を起こす可能性がある。

GHS分類:

可燃性/引火性エアゾール	区分1
急性毒性	急性毒性(経口) 分類できない
	急性毒性(経皮) 分類できない
	急性毒性(吸入:ガス) 分類できない
	急性毒性(吸入:蒸気) 分類できない
	急性毒性(吸入:ミスト) 分類できない
	皮膚腐食性・刺激性 分類できない
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 分類できない

	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)	区分外
	特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)	区分外
環境有害性	吸引性呼吸器有害性	分類対象外
	水生環境急性有害性	分類対象外
	水生環境慢性有害性	分類できない

絵表示又は
シンボル:



注意喚起語: 危険
危険有害性情報: 極めて可燃性・引火性の高いガス

注意書き:

【安全対策】

熱、火花、裸火のような着火源から遠ざけること。禁煙
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
ガスの吸引を避けること。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
呼吸用保護具を着用すること。
換気が十分でない場合には呼吸用保護具を着用すること。
保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
粉じんを吸入しないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
急な加温、直火は避けること。40℃以上に加温しないこと。

【応急措置】

漏洩ガス火災の場合、漏洩が安全に停止されない限り消火しないこと。
漏洩ガス火災の場合、安全に対処できるならば着火源を除去すること。
吸入した場合、空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。
皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
汚染された保護衣を再使用する場合には洗濯すること。
眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
吸入した場合、直ちに医師の診断、手当てを受けること。
呼吸に関する症状が出た場合には、医師の診断、手当てを受けること。
皮膚刺激があれば、医師の診断、手当てを受けること。

【保管】

日光から遮断し、換気の良い場所で保管すること。
換気の良い場所で保管すること。
容器を密閉しておくこと。

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

備考

危険有害性 : 眼を刺激することがある。軽度の一過性角膜損傷を起こすことがある。長期間接触すると、局所発赤を伴う皮膚刺激作用を起こすことがある。密閉した場所または換気が不十分な場所では、蒸気が容易に蓄積し、酸素濃度が下がり、意識がなくなったり、死に至ることがある。過剰ばく露すると、上気道(鼻と喉)および肺に刺激作用を来すことがある。肺浮腫(肺水腫)を起こすことがある。中枢神経系に影響することがある。アレルギー性皮膚反応および呼吸反応を示すことがある。変異原性物質。

環境影響 : 物質は事実上、水生生物に対して急性毒性を示さない(試験した種のうち最も感受性の高い種で LC₅₀/EC₅₀/EL₅₀/LL₅₀ >100 mg/L)。

物理的・化学的危険性 : 41℃以上の温度は避ける。高温では、容器が裂けたり破裂することがある。温度が高いと危険な重合反応を引き起こすことがある。。ジイソシアネート類は多くの物質と反応し、温度の上昇や接触の増加により反応速度は高くなり、非常に激しくなることもある。攪拌したり、他の物質が混合されたりすると、接触は増加する。分解時に有毒ガスが放出される。製品は水と反応する。反応は熱および・またはガスを発生させることがある。火災により内容物の放出や容器が破裂することがある。

化学物質排出把握管理促進法：第一種指定化学物質 政令番号1-448 メレピス (4, 1-フェニル) =ジイソシアネート (PRTR法) 対象物質

4. 応 急 措 置

目に入った場合 : 直ちに大量の清浄な水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗うこと。出来るだけ速く医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 : 付着物を布にて素早く拭き取る。
大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。
溶剤、シンナーは使用しない事。

吸入した場合 : 外観に変化が見られたり、痛みがある場合には、医師の診断を受ける。
蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。呼吸が不規則か止まっている場合には人工呼吸を行う。
嘔吐物は飲み込ませないようにする。直ちに医師の診断を受ける。
蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合 : 誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受ける。
嘔吐物は飲み込ませない。
医師の指示による以外は無理に吐かせない事。

5. 火 災 時 の 措 置

消 火 剤 : 炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂

消 火 手 順 : 適切な保護具(耐熱着衣など)を使用する。
可燃性のものを周囲から速やかに取り除く
指定の消火剤を使用する
高温にさらされる製品容器に水をかけて冷却する。

消火活動は風上から行うこと。

エアゾール製品の場合、高温で破裂する恐れがあるため、消火活動は距離を十分に取る。

6. 漏 出 時 の 措 置

漏出した場合に取るべき手順：作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
漏出物は密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
付着物、廃棄物などの関係法規に基づいて処置をする。
付近の着火源、高温体及び可燃物を速やかに取り除く。
着火した場合に備えて適切な消火器を準備する。
衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する
乾燥砂、土、その他不燃性のものに吸着させて回収する、大量の流出には盛り土などで囲って流出を防止する。河川、排水溝、下水道に排出されないように注意する。
振とうすると内容物が噴出する恐れがあるので注意して取り扱う。

7. 取 扱 い 及 び 保 管 上 の 注 意

取 扱：換気の良い場所で取り扱う。
容器はその都度キャップ(ストッパー)または密栓する。
周辺で火気、スパーク等の発火源となるものや高温物の使用を禁止する。
工業用品は静電気対策のため、装置等は接地し、電気機器類は防爆型(安全増型)を使用する。
工具は火花防止型のもを使用する。
作業中は、帯電防止型の作業服、靴を使用する。
使用済みウエスは、廃棄するまでは水に浸けておくこと
40℃以上の所では取り扱わないこと。 *火気のあるところでは取り扱わないこと。
40℃以上に暖めないこと。
エアゾール製品の場合は、30秒以上の連続使用をしないこと。(ただし、連続噴射式製品を除く)
密閉された場所での作業の場合、十分な局所排気装置を設け、適切な保護具を着用する。
内容物を眼、皮膚に接触させないこと。
炎に向けて使用しないこと。

保 管：日光の直射を避ける。
通風の良いところに保管する。
火気、熱源から遠ざけて保管する。
温度が40℃以上の所で保管しない。
水回りや高湿度の場所での保管を避ける。
ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触並びに同一場所での保管を避ける。
子供の手の届かないところに保管する。

 8. ばく露防止措置

- 許容濃度 : ジメチルエーテル ;
- 設備対策 : 局所排気装置等をつけて、蒸気が滞留しないようにする。
- 〈共通〉 取り扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれられないような設備とすること。
- 〈工業用品の場合〉 取り扱い設備は防爆型を使用する。
 屋内作業の場合は、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられるような設備とすること。
 取り扱い場所の近辺に洗顔及び身体洗浄のための設備を設け、その位置を明瞭に表示する。
- 保護具 : 呼吸器の保護 ; スプレーを行う場合には適切な保護マスクを着用する。
 密閉された場所では送気マスクを着用する。
 眼・顔面の保護 ; 保護眼鏡を着用する。
 皮膚・身体の保護 ; 有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の保護手袋を着用する。
 その他の注意事項 ; 着衣が内容物で濡れた場合、直ちに取り替える。

 9. 物理 / 化学的性質

【原液】

物理的状態	: 液体	臭い	: 特にしらない
色	: 乳白色	引火点-密閉式	: データなし
発火点	: データなし	蒸気圧	: データなし
沸点	: データなし	蒸気密度	: データなし (空気=1)
蒸気密度	: データなし	融点	: データなし
爆発特性	: データなし	Ph	: -
蒸気圧	: データなし	密度	: データなし
その他	:		

【噴射剤】

状態	: 液体	沸点	: -
色	: 無色透明	融点	: -141.5℃
臭い	: やや甘み臭	沸点範囲	: -24.8℃
発火点	: 350℃	分解温度	: データなし
蒸気密度	: 1.59kg/m ³ (空気=1)	引火点	: -41.1℃
爆発特性	: 3.4~27%	蒸気圧	: 0.5MPa (20.8℃)
密度	: 0.66g/cm ³	その他	

 10. 安定性及び反応性

反 応 性 : 条件(温度、光等)
 ・エアゾール製品の場合は40℃以上になると缶が破裂する恐れがある。
 安定性 : 接触により危険性のある物質
 ・酸化剤

燃焼等による有害ガス発生

11. 有 害 性 情 報

物質名	IARC	その他有害性情報
ジメチルエーテル		

[組成物質に関するその他の有害性情報]

[製品に関する有害性情報]

製品としての安全性試験は行っていない

12. 環 境 影 響 情 報

・漏洩時及び廃棄等の際には、環境影響を与える恐れがあるので取り扱いには注意する。特に製品や洗浄水が地面、河川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃 棄 上 の 注 意

- ・ 容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。
- ・ エアゾール製品の場合は、焼却処理を行わないこと。
- ・ エアゾール製品の場合は、中身を完全に使い切り、火気のない戸外で噴射音が消えるまでボタンを押し、ガスを完全に抜いてから捨てる。中身の入ったものは絶対に廃棄しない。また、ガスを抜く際には、火気及びミストの吸入などについて注意すること。

14. 輸 送 上 の 注 意

共通 : 取扱及び保管上の注意の項に従う
 : 容器に漏れのない事を確かめ、転落、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れぼうしを確実に行う
 運搬に際しては容器を40℃以下に保ち、転落、落下、損傷がないように注意する。
 陸上運送 : 消防法、労働安全衛生法に定めるところに従う。
 海上運送 : 船舶安全法に定めるところに従う。
 航空輸送 : 航空法に定めるところに従う。
 国連番号 : 1950

この情報は、この製品に関わる特定の法令や輸送上の条件を全てお知らせするものではありません。この物質の輸送にあたっては、輸送会社の責任において、適用される全ての法律、規制、規則に従ってください。

15. 適 用 法 令

高圧ガス保安法 : 適用除外項目対象
消 防 法 : 非該当
船 舶 安 全 法 : 危険物(高圧ガス)
航 空 法 : 航空法に定めるところに従う
労働安全衛生法 : 施行令 危険物(可燃性のガス)

16. そ の 他

推奨する用途と制限 :

記載内容の問合せ先 : 東京都千代田区永田町2丁目12番14号
(株) エービーシー商会・インサルパック営業部
電話番号 03-3507-7240 F A X 番号 03-3581-4946

発行又は改訂の理由 : 化学物質排出把握管理促進法の改訂に伴う変更

引用文献 : 日本塗料工業会編集「MSDS用物質データベース」
日本塗料工業会編集「MSDS作成ガイドブック」
各メーカー製品安全データシート

記

本文中の記載内容は、十分な配慮に基づき作成されていますが、その内容につき明示又は黙示の保証をするものではありません。

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製造者 : 株式会社アイ・ディー・エム
輸入総販売元 : 株式会社 エービーシー商会
住所 : 東京都千代田区永田町2丁目12番14号
担当部門 : インサルパック営業部
電話番号 : 03-3507-7240 FAX 番号 03-3581-4946

整理番号 : 00ICB002

作成 2011年3月 1日

製品名 : インサルクラックシャット(ICS200)

2. 物質の特定

単一製品・混合物 : 混合物
化学名 :

成分	含有量%	CAS No.	官報公示整理番号 (化審法)
結晶性シリカ	10~20	14808-60-7	
イソブタン	10~20	75-28-5	
プロパン	1~10	74-98-6	
n-ブタン	30~40	106-97-8	

国連分類 : クラス2.1 (ガス類)
国連番号 : 1950 (引火性)

3. 危険有害性の要約

重要危険有害性 高圧ガス入っている。加熱・衝撃等により破裂する危険性がある。
燃えやすいガスが入っている。ガスが滞留すると爆発の恐れがある。
液化ガスは、ごく弱い麻酔性がある。高濃度曝露において軽い不快感が起こる。
液化ガスが、皮膚に触れると炎症や凍傷を起す。

GHS分類:

可燃性/引火性エアゾール

区分1

急性毒性

急性毒性(経口)

区分外

急性毒性(経皮)

分類できない

急性毒性(吸入:ガス)

区分4

急性毒性(吸入:蒸気)

分類できない

急性毒性(吸入:ミスト)

分類できない

	皮膚腐食性・刺激性	区分 1
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分 1
	呼吸器感作性	区分 1
	皮膚感作性	区分 1
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)	区分 1(呼吸器系) 区分 3(腎臓、呼吸器系)
	特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)	区分 1
環境有害性	吸引性呼吸器有害性	分類対象外
	水生環境急性有害性	分類できない
	水生環境慢性有害性	分類できない

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:

危険

危険有害性情報:

極めて可燃性・引火性の高いエアゾール
 吸入すると有害(ガス)
 重篤な皮膚の凍傷
 重篤な目の損傷
 吸入するとアレルギー、喘息又は呼吸困難を起こす恐れ
 アレルギー性皮膚反応を起すおそれ
 臓器の障害(呼吸器系)
 眠気又はめまいの恐れ
 長期又は半復暴露による臓器の障害(腎臓、呼吸器系)

4. 応 急 措 置

- 目に入った場合** : 直ちに大量の清浄な水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗うこと。出来るだけ速く医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合** : 付着物を布にて素早く拭き取る。
 大量の水及び石鹸又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。
 溶剤、シンナーは使用しない事。
 外観に変化が見られたり、痛みがある場合には、医師の診断を受ける。
- 吸入した場合** : 蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。呼吸が不規則か止まっている場合には人工呼吸を行う。
 嘔吐物は飲み込ませないようにする。直ちに医師の診断を受ける。
 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合** : 誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受ける。
 嘔吐物は飲み込ませない。
 医師の指示による以外は無理に吐かせない事。

5. 火 災 時 の 措 置

- 消 火 剤 : 炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂
- 消 火 手 順 : 適切な保護具(耐熱着衣など)を使用する。
可燃性のものを周囲から速やかに取り除く
指定の消火剤を使用する
高温にさらされる製品容器に水をかけて冷却する。
消火活動は風上から行うこと。
エアゾール製品の場合、高温で破裂する恐れがあるため、消火活動は距離を十分に取る。

6. 漏 出 時 の 措 置

- 漏 出 し た 場 合 に 取 る べ き 手 順 : 作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
漏出物は密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
付着物、廃棄物などの関係法規に基づいて処置をする。
付近の着火源、高温体及び可燃物を速やかに取り除く。
着火した場合に備えて適切な消火器を準備する。
衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する
乾燥砂、土、その他不燃性のものに吸着させて回収する、大量の流出には盛り土などで囲って流出を防止する。河川、排水溝、下水道に排出されないように注意する。
振とうすると内容物が噴出する恐れがあるので注意して取り扱う。

7. 取 扱 い 及 び 保 管 上 の 注 意

- 取 扱 : 換気の良い場所で取り扱う。
容器はその都度キャップ(ストッパー)または密栓する。
周辺で火気、スパーク等の発火源となるものや高温物の使用を禁止する。
工業用品は静電気対策のため、装置等は接地し、電気機器類は防爆型(安全増型)を使用する。
工具は火花防止型のものを使用する。
作業中は、帯電防止型の作業服、靴を使用する。
使用済みウエスは、廃棄するまでは水に浸けておくこと
40℃以上の所では取り扱わないこと。 *火気のあるところでは取り扱わないこと。
40℃以上に暖めないこと。
エアゾール製品の場合は、30秒以上の連続使用をしないこと。(ただし、連続噴射式製品を除く)
密閉された場所での作業の場合、十分な局所排気装置を設け、適切な保護具を着用する。
内容物を眼、皮膚に接触させないこと。
炎に向けて使用しないこと。
- 保 管 : 日光の直射を避ける。
通風の良いところに保管する。
火気、熱源から遠ざけて保管する。

温度が40℃以上の所で保管しない。
 水回りや高湿度の場所での保管を避ける。
 ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触並びに同一場所での保管を避ける。
 子供の手の届かないところに保管する。

8. ばく露防止措置

許容濃度 : 結晶性シリカ ; ACGIH(TLV):0 (mg/m3)
 イソブタン ;
 プロパン ; ACGIH(TLV):1000ppm
 n-ブタン ; ACGIH(TLV):800ppm
 ; ACGIH(TLV):1900mg/m3

設備対策 : 局所排気装置等をつけて、蒸気が滞留しないようにする。
 <共通> 取り扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれなような設備とすること。
 <工業用品の場合> 取り扱い設備は防爆型を使用する。
 屋内作業の場合は、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられるような設備とすること。
 取り扱い場所の近辺に洗顔及び身体洗浄のための設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

保護具 : 呼吸器の保護 ; スプレーを行う場合には適切な保護マスクを着用する。
 ; 密閉された場所では送気マスクを着用する。
 目の保護具 ; 保護眼鏡を着用する。
 皮膚・身体の保護 ; 有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の保護手袋を着用する。
 その他の注意事項 ; 着衣が内容物で濡れた場合、直ちに取り替える。

9. 物理 / 化学的性質

【原液】

物理的状態	: 粉状	臭い	: データなし
色	: 灰色	引火点-密閉式	: データなし
発火点	: データなし	蒸気圧	: データなし
沸点	: データなし	蒸気密度	: データなし
蒸気密度	: データなし	融点	: データなし
爆発特性	: データなし	Ph	: -
蒸気圧	: データなし	密度	: データなし
その他	:		

【噴射剤】

状態	: 液体	沸点	: -
----	------	----	-----

色	: 無色透明	融点	: -187.75~-138.4℃
臭い	: 無臭	沸点範囲	: -42.1~-0.5℃
発火点	: 405℃	分解温度	: データなし
蒸気密度	: 1.895~2.538kg/m ³ (1atm15.6℃)	引火点	: -104℃
爆発特性	: 3.4~27%	蒸気圧	: 1.275~0.278MPa(40℃)
密度	: 0.565g/cm ³	その他	

10. 安定性及び反応性

反応性	: 条件(温度、光等) ・エアゾール製品の場合は40℃以上になると缶が破裂する恐れがある。
安定性	: 接触により危険性のある物質 ・酸化剤

燃焼等による有害ガス発生

11. 有害性情報

物質名	IARC	その他有害性情報
結晶性シリカ	1	
イソブタン		
プロパン		
n-ブタン		

[組成物質に関するその他の有害性情報]

[製品に関する有害性情報]

製品としての安全性試験は行っていない。

12. 環境影響情報

- ・漏洩時及び廃棄等の際には、環境影響を与える恐れがあるので取り扱いには注意する。特に製品や洗浄水が地面、河川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

- ・容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。
- ・エアゾール製品の場合は、焼却処理を行わないこと。
- ・エアゾール製品の場合は、中身を完全に使い切り、火気のない戸外で噴射音が消えるまでボタンを押し、ガスを完全に抜いてから捨てる。中身の入ったものは絶対に廃棄しない。また、ガスを抜く際には、火気及びミストの吸入などについて注意すること。

14. 輸送上の注意

共通 : 取扱及び保管上の注意の項に従う
: 容器に漏れのない事を確かめ、転落、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れぼうしを確実に
運搬に際しては容器を 40℃以下に保ち、転落、落下、損傷がないように注意する。
陸上運送 : 消防法、労働安全衛生法に定めるところに従う。
海上運送 : 船舶安全法に定めるところに従う。
航空運送 : 航空法に定めるところに従う。
国連番号 : 1 9 5 0

この情報は、この製品に関わる特定の法令や輸送上の条件を全てお知らせするものではありません。この物質の輸送にあたっては、輸送会社の責任において、適用される全ての法律、規制、規則に従ってください。

15. 適用法令

高圧ガス保安法 : 適用除外項目対象
消 防 法 : 非該当
船 舶 安 全 法 : 危険物(高圧ガス)
航 空 法 : 航空法に定めるところに従う
労 働 安 全 衛 生 法 : 施行令 危険物(可燃性のガス)

16. その他

推奨する用途と制限 : コンクリート壁面用ヘアークラック補修材
記載内容の問合せ先 : 東京都千代田区永田町2丁目12番14号
(株) エービーシー商会・インサルパック営業部
電話番号 03-3507-7240 F A X 番号 03-3581-4946
発行又は改訂の理由 : 化学物質排出把握管理促進法の改訂に伴う変更
引用文献 : 日本塗料工業会編集「MSDS用物質データベース」
日本塗料工業会編集「MSDS作成ガイドブック」
各メーカー製品安全データシート

記

本文中の記載内容は、十分な配慮に基づき作成されていますが、その内容につき明示又は黙示の保証をするものではありません。